

床ずれ予防用具の選び方／床ずれ予防のために

専用マットの利用での体圧の分散や定期的な体位変換で、効果的に床ずれを予防することができます。

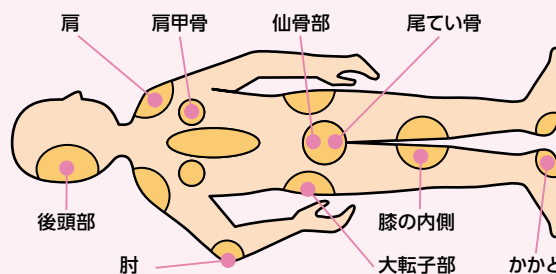
● 床ずれとは？

「床ずれ」とは、体重が集中する骨と寝具に挟まれた皮膚組織が圧迫され、「血の流れが悪くなり、皮膚やその下にある組織が死んでしまうこと」を言います。床ずれは、組織内部のダメージが確認できないために、キズ（創）の状態が急速に悪化することがあります。毎日注意深く皮膚を観察することが大切です。

● 床ずれの最大の原因は？

床ずれの最大の原因は、体重が骨突出部位に集中することによる組織への圧迫の連続です。

長時間同じ姿勢で寝ていたり、座っていたりすると、骨の突き出した部分へ体重が「集中」し、その状態が一定時間以上「継続」すると皮膚組織がダメージを受けて床ずれが発生します。



● 骨突出部位

床ずれは骨が突き出ている部分にできやすく、体重のかかりやすい腰部分がかもっともできやすい。

そのほかの要因…ムシ、ズレなど

● 床ずれを予防するためには

床ずれ発生の2大要因を減少させる対策をとみましょう。

- ① 圧力の強さを小さくする。
- ② 圧力のかかっている時間を少なくする。

● 床ずれ予防用具でできること

■ 床ずれの原因で対策が変わります

このカタログで扱っている床ずれ予防用具は、マットレスと体位変換器および車いすクッション*ですが、床ずれはベッドや車いす上だけでできるものではありません。床ずれを作ってしまった時はまず、何が原因でできたのかを確認する作業が大切です。

■ さまざまなリスク（原因）を評価しましょう

ベッド上で仙骨部周辺に作る床ずれでも、臥床時間が長いことによる圧力が原因の場合や、ベッドの背上げ時のズレによる場合や、不適切な背上げ姿勢による場合、排泄ケアが不適切であることによる場合、骨突出による場合、栄養管理の不適切など多くの原因が考えられ、これらが重複して原因となっている場合もあります。原因がわからなければ対策の立てようもなく、ただ単に床ずれの治療期間中の圧力の分散ができるだけになってしまいます。床ずれを作りやすい人の場合には、リスクをきちんと評価し、個々のリスクに対する対策を総合的に考えることが大切です。

● 選び方のポイント・目安

① 床ずれを作るリスクがマットレスによる圧力分散である場合

エアマットレスやウレタン系の圧力分散特性のよいマットレスが適切です。

② 背上げ時のズレに原因が求められる場合

介助の方法を基本的に見直す必要があります。背を上げる前に正しい位置に寝かせること、その場合にどのような介助動作で位置を変えるかも考えます。また、背を上げるにつれて頻繁にいわゆる「背抜き」介助が必要になります。背を下げた時も必ず側臥位をとりながら、ズレを解除します。

利用者の状況に応じた選び方が重要！

③ 背上げ時に臀部が底つきしそうな場合

背上げ時に臀部周辺の空気圧を高くできるエアマットレスを選びます。

④ エアマットレスの空気圧の変動で不快感がある場合

エアマットレスで、エアセルの空気圧が変動することによって船酔いのような不快感を感じる時は、エアマットレスよりはウレタン系マットレスの方が向いていると言えます。

*車いすのページをご覧ください。